

## マイナビ進学会員

### 「高校生の進路意識と進路選択に関するアンケート調査」報告書

マイナビ進学総合研究所は、2025年3月卒業の高校生に対し「高校生の進路意識と進路選択に関するアンケート調査」を実施いたしましたので、下記の通りご報告いたします。

#### 【調査概要】

- 調査名： 高校生の進路意識と進路選択に関するアンケート調査（2025年3月実施）
- 調査方法： メールにて調査告知を行い、WEBフォームにて回答
- 調査回収期間： 2025年3月25日～2025年3月31日
- 調査対象者： 2025年3月に卒業予定の高校3年生（マイナビ進学会員登録者）
- 有効回答者数： 3,013名（WEB調査）  
（進路決定先・・・大学：2,298名／短期大学：120名／専門学校：323名／  
その他：272名）

#### 調査結果トピックス

・志望校選びの際「重視するポイント」は、大学・専門学校は「学べる内容」、短期大学は「取れる資格」

大学・専門学校への進学者は「学べる内容」が、短期大学への進学者は「取れる資格」が前年同様トップ項目に。

・受験校数は大学で平均2.1校。2校以下に抑える理由は「受験料や入学金が大変」「対策の準備が大変」だから

大学の場合、平均3.1校の候補の中から2.1校を受験している。2校以下に抑える理由を聞くと、「受験料や入学金の支払いが大変だから」が最も多く、「対策の準備が大変だから」が続いた。

・進学する学校への資料請求時期は「3年生4～6月」、来校時期は「3年生7～9月」、出願決定時期は大学・短期大学で「3年生10～12月」、専門学校で「3年生7～9月」が最多割合

来校・出願決定時期については前年に前倒し傾向が見られたが、今年は3年生7月以降が多くなっている。

・「3年生7～9月」の「来校」が、進学先を決める最も大きな要因か

進学先の学校は、それ以外の候補学校に比べて、上記時期の来校割合が大きく上回っている。

本資料に掲載のデータ、図版等の無断転載を禁じます。資料のご利用やご質問等については下記までご連絡ください。

株式会社マイナビ 未来応援事業本部 マイナビ進学総合研究所

E-mail: ms-souken@mynavi.jp

URL: <https://souken.shingaku.mynavi.jp>

## INDEX

### **1 学校選びについて…… P 3**

- ・志望校選びの際「重視するポイント」
- ・「学べる内容」のうち、あなたが重視した内容
- ・学校選びの際の候補校数と受験した学校数（平均）
- ・受験回数（平均）
- ・受験校数を2校以下に抑えた理由

### **2 進学先の学校について…… P 7**

- ・その学校を進学先として選んだ理由
- ・進学先に合格した入試方式
- ・進学先の学部・学科系統／分野系統
- ・進学する学校を知った時期（月別／累計）
- ・進学する学校へ資料請求をした時期
- ・進学する学校のオープンキャンパス・体験入学へ参加した時期
- ・進学する学校へ出願を決めた時期（月別／累計）
- ・高校卒業後、進学する際の住まいについて

### **3 進学先以外の進学候補学校について…… P 13**

- ・学校のことを知った時期（初期認知）
- ・学校へ資料請求をした時期
- ・オープンキャンパス等のイベントへの参加時期
- ・オープンキャンパス等のイベントへ参加した割合
- ・出願を決定した時期
- ・色々調べたが志望校候補に入らなかった学校が、志望校候補に入らなかった一番の理由
- ・志望校候補に入っていたが出願しなかった学校を、出願しなかった一番の理由
- ・合格したが進学しなかった学校を、進学先として選ばなかった一番の理由

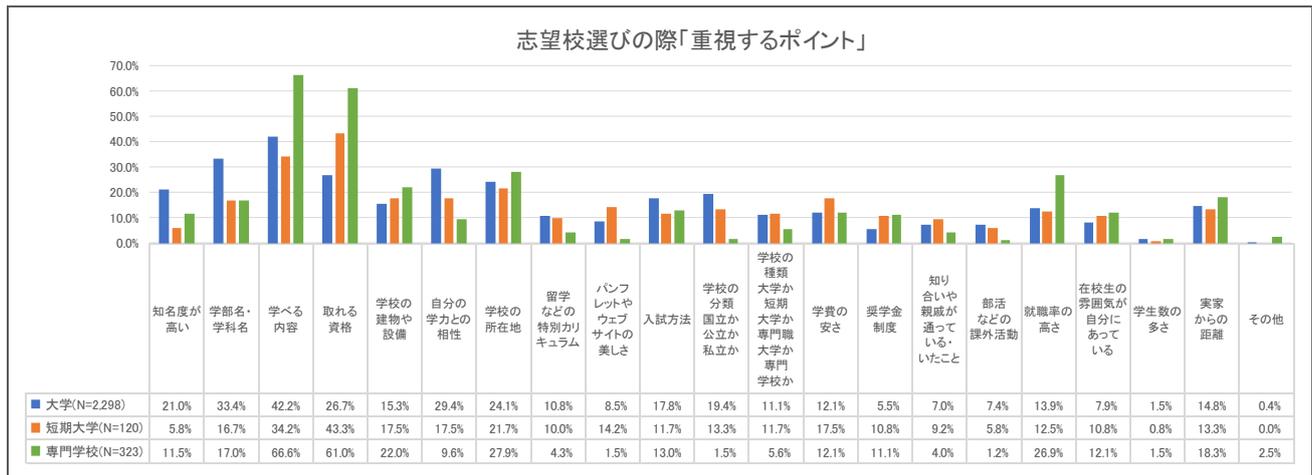
### **4 進路選択・進学後の学校生活について…… P 20**

- ・受験校を選んだ時の不安や悩み
- ・進路選択の満足度（100点満点評価）

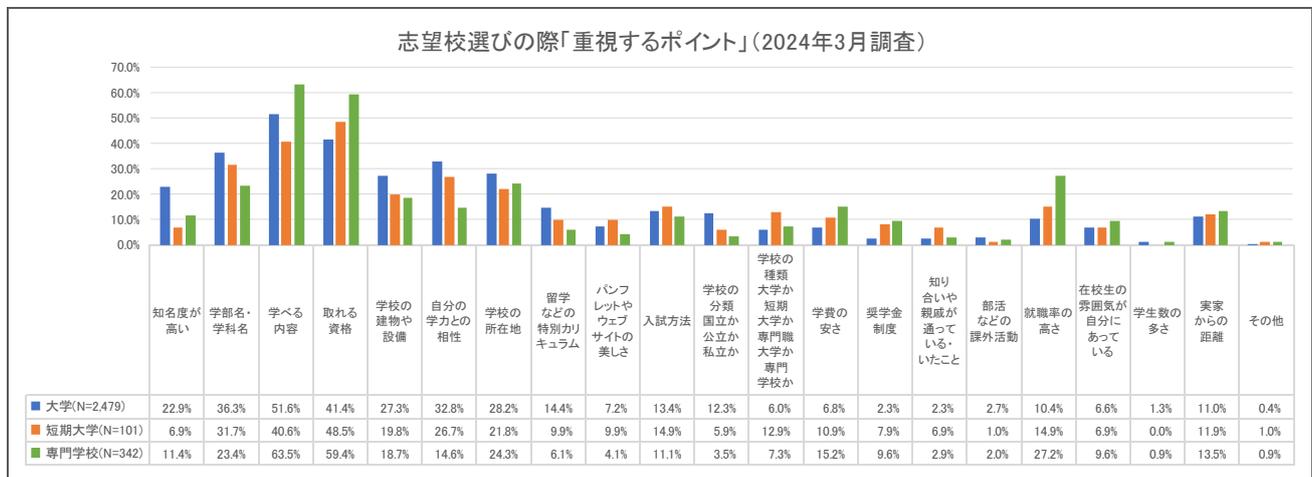
## 1 学校選びについて

志望校選びの際「重視するポイント」について聞くと、大学・専門学校では「学べる内容」(大学 42.2%、専門学校 66.6%)が、短期大学では「取れる資格」(43.3%)が、それぞれ前年同様トップの項目となった。

大学においては「学部名・学科名」が2位に、「自分の学力との相性」が3位となった。前年は2位に「取れる資格」がランクインしてそれまでの4年間で初めて「学部名・学科名」を上回ったが、今年は4位に順位を下げている。



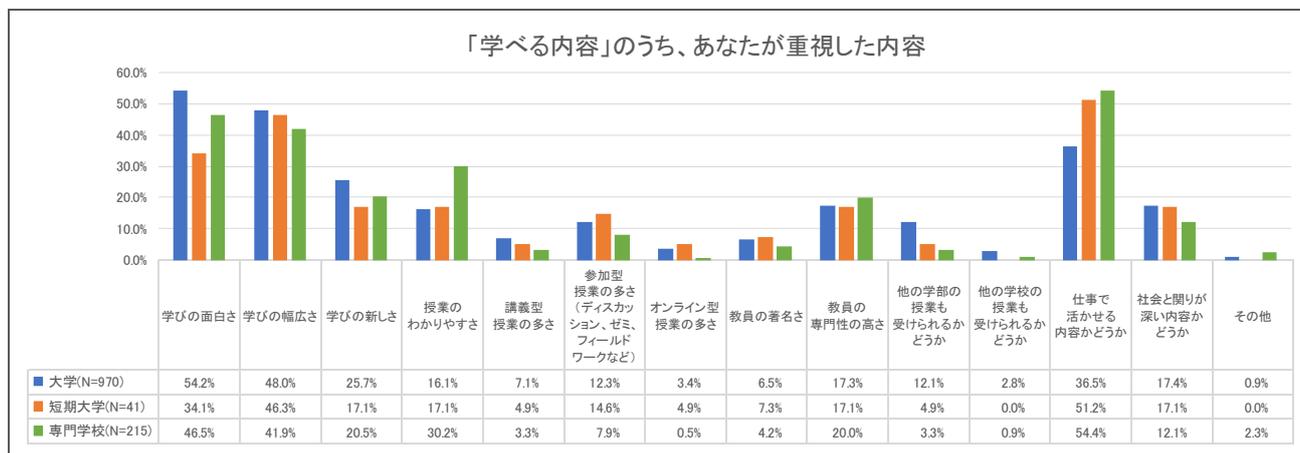
▼下記、2024年3月調査資料より掲載



大学・専門学校で志望校選びの際「重視するポイント」で最も回答割合が高かった「学べる内容」について深掘りしていくと、大学では前年同様に「学びの面白さ」が1位、「学びの幅広さ」が2位となった。

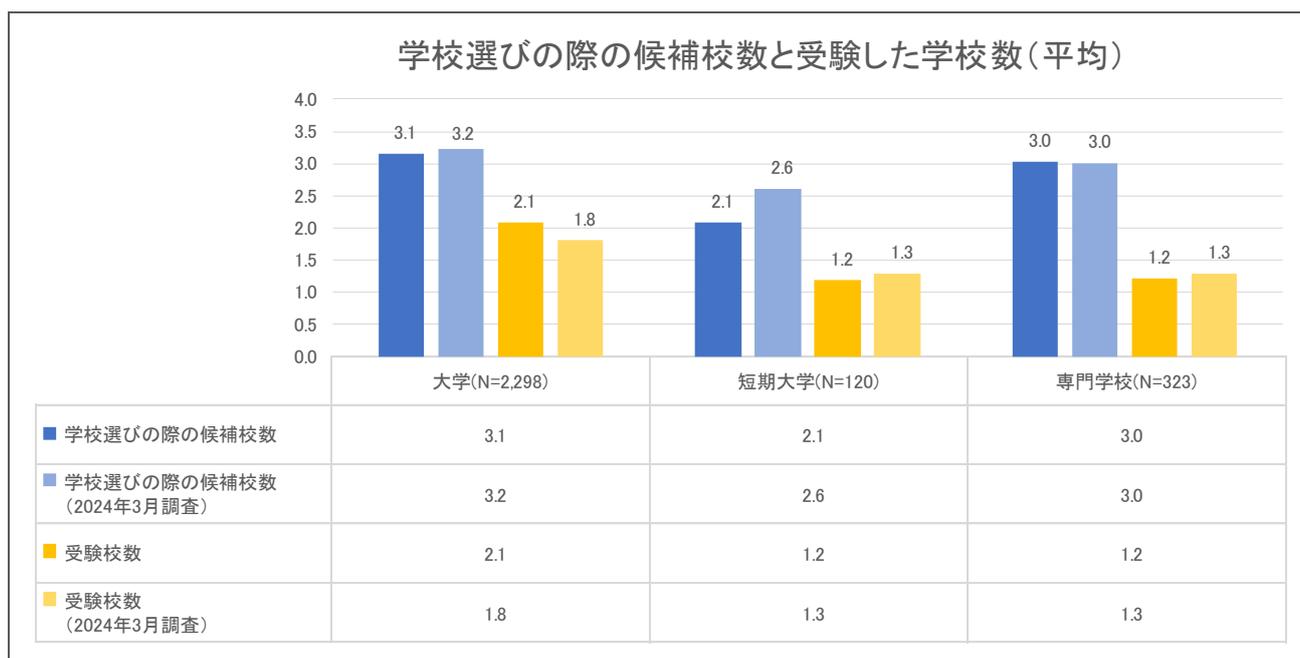
専門学校では「仕事で活かせる内容かどうか」が1位、「学びの面白さ」が2位で、前年1位だった「学びの幅広さ」は3位に後退している。

※志望校選びの際「重要するポイント」で「学びの内容」を選択した人のみに回答してもらった。



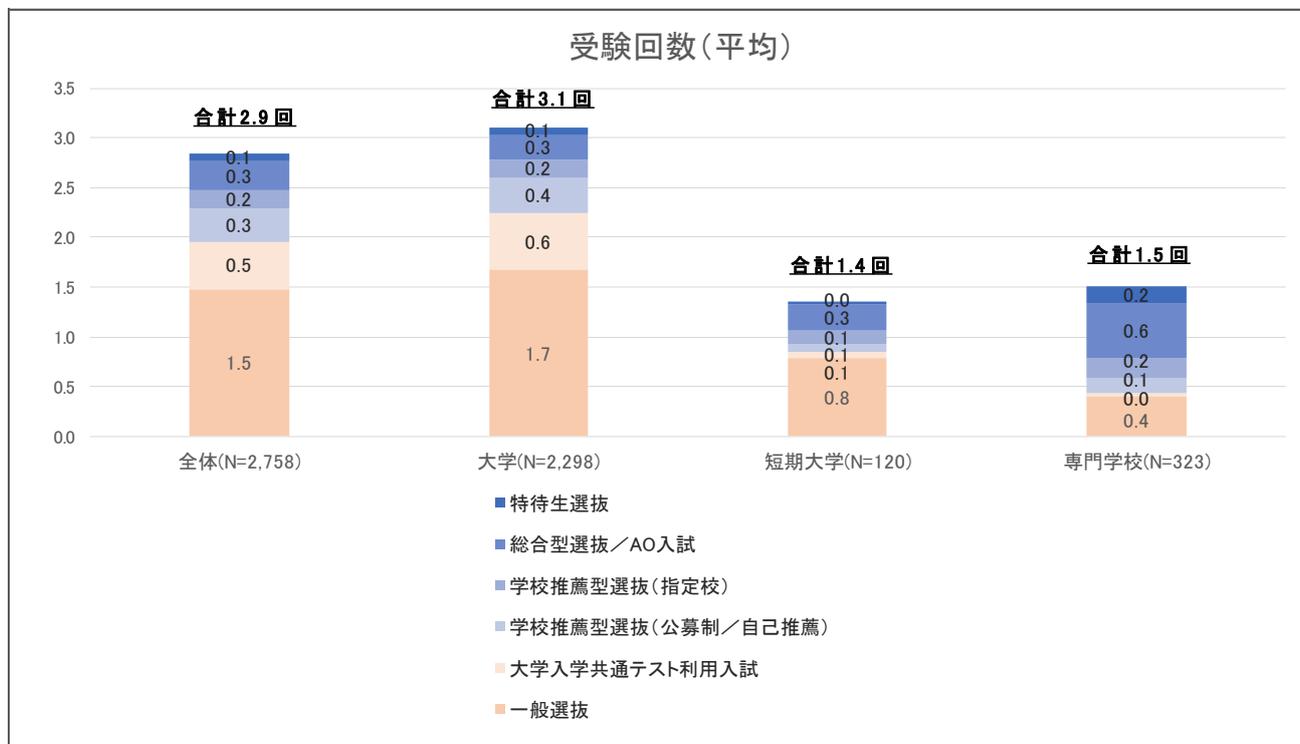
また、学校選びの際の候補校数と受験した学校数の平均を算出すると、大学では約3.1校の候補から約2.1校を受験し、短期大学では約2.1校の候補から約1.2校を受験、専門学校では約3.0校の候補から約1.2校を受験という結果となった。

学校数は短期大学の候補校数は前年の約2.6校から今年は約2.1校に減少しているが、大学・専門学校はほぼ変わらず下げ止まってきている。



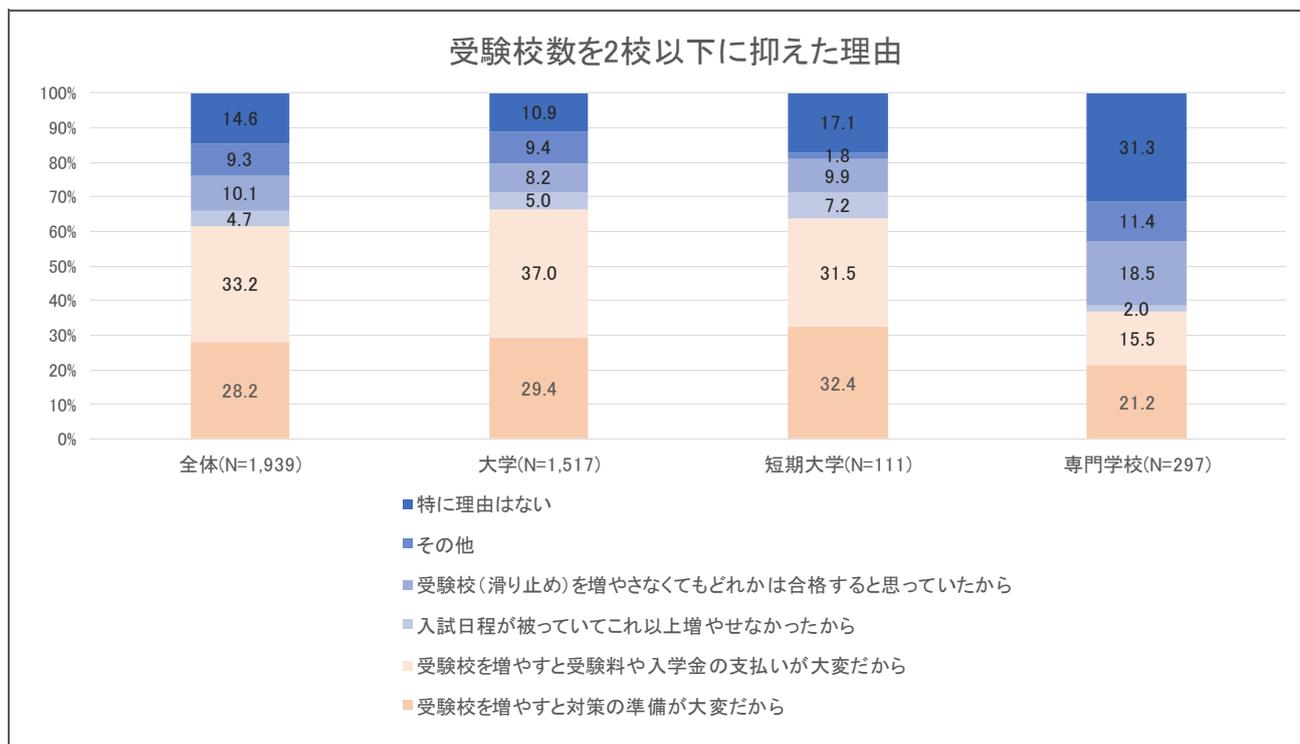
入試方式別の受験回数から平均を算出すると、合計の受験回数は大学が約 3.1 回で最も多く、専門学校が約 1.5 回、短期大学が約 1.4 回となっている。

入試方式別では、大学・短期大学では「一般選抜」が、専門学校では「総合型選抜／AO 入試」が最も受験回数が多い。



受験校数が2校以下の人に受験校数を2校以下に抑えた理由を聞くと、大学では「受験校を増やすと受験料や入学金の支払いが大変だから」が最多で、「受験校を増やすと対策の準備が大変だから」が続いた。短期大学では「受験校を増やすと対策の準備が大変だから」が、専門学校では「特に理由はない」に次いで「受験校を増やすと対策の準備が大変だから」が最も多くあげられた。

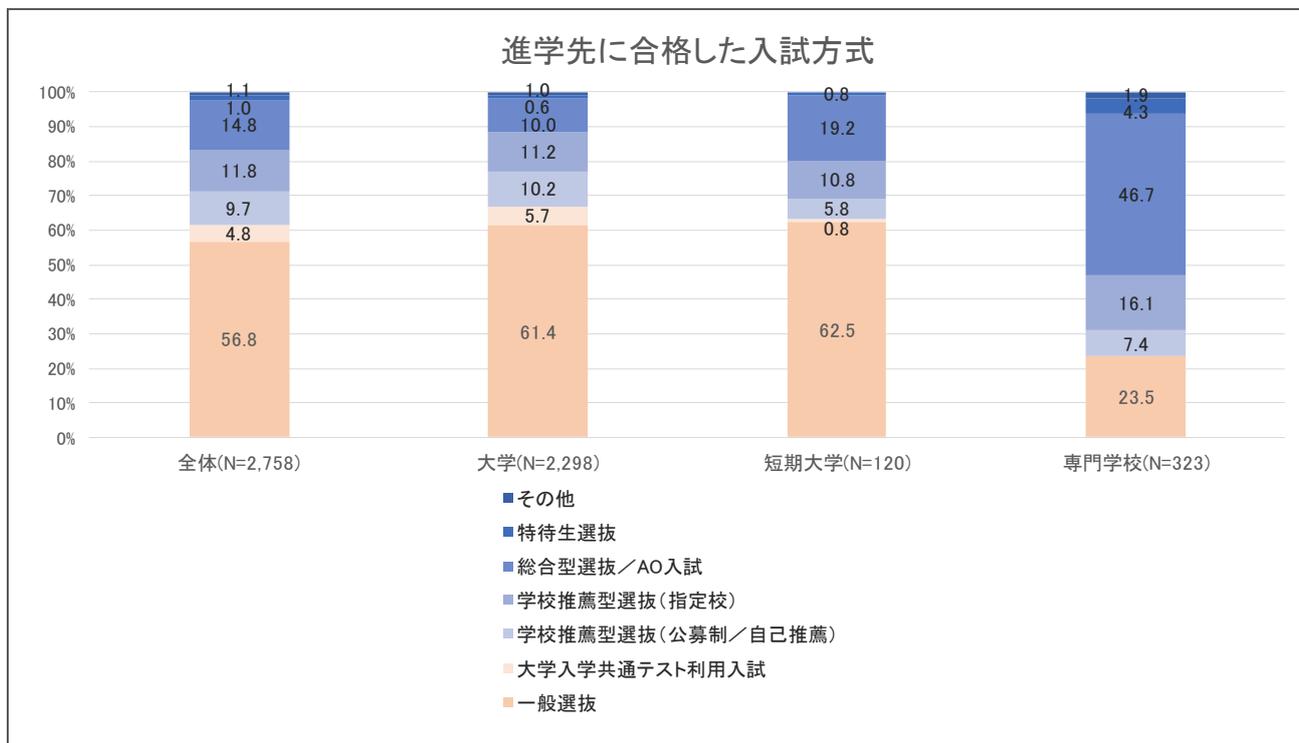
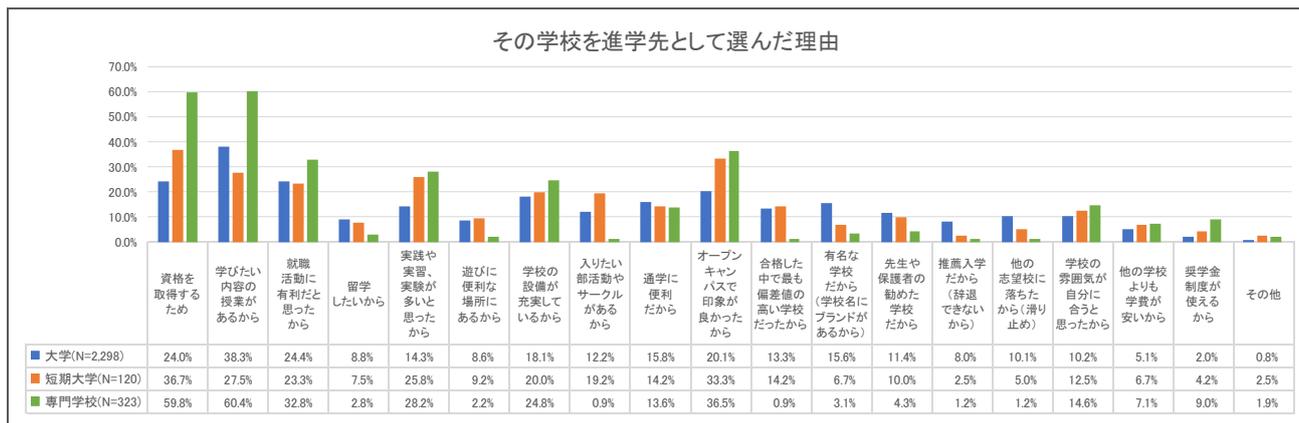
※受験校数が2校以下の人のみに回答してもらった。

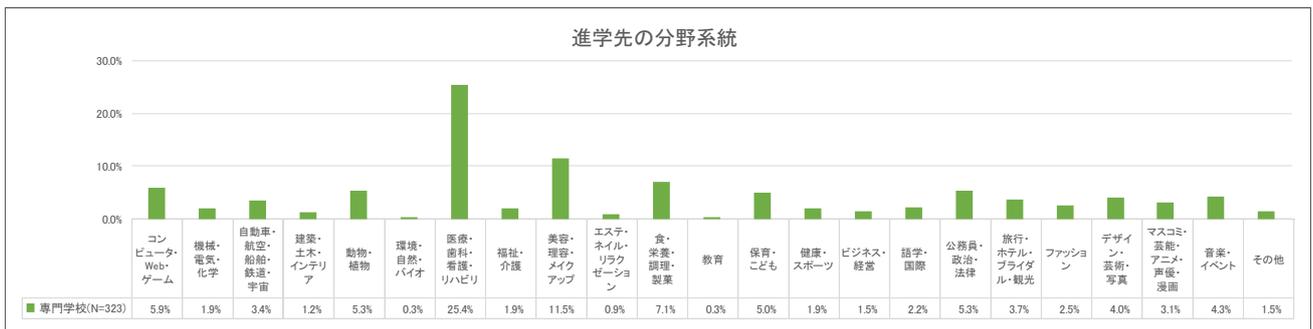
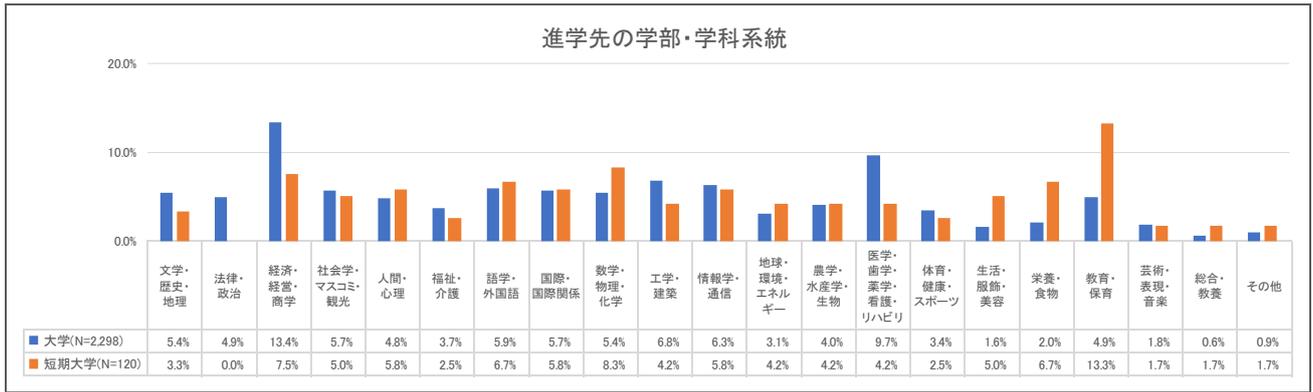


## 2 進学先の学校について

進学先としてその学校を選んだ理由を聞くと、「学びたい内容の授業があるから」「資格を取得するため」といった、志望校選びの際「重視するポイント」と似た項目が上位に並んだ。

進学先に合格した入試方式は、受験回数と同様に、大学・短期大学では「一般選抜」が、専門学校では「総合型選抜／AO入試」が最も多い。



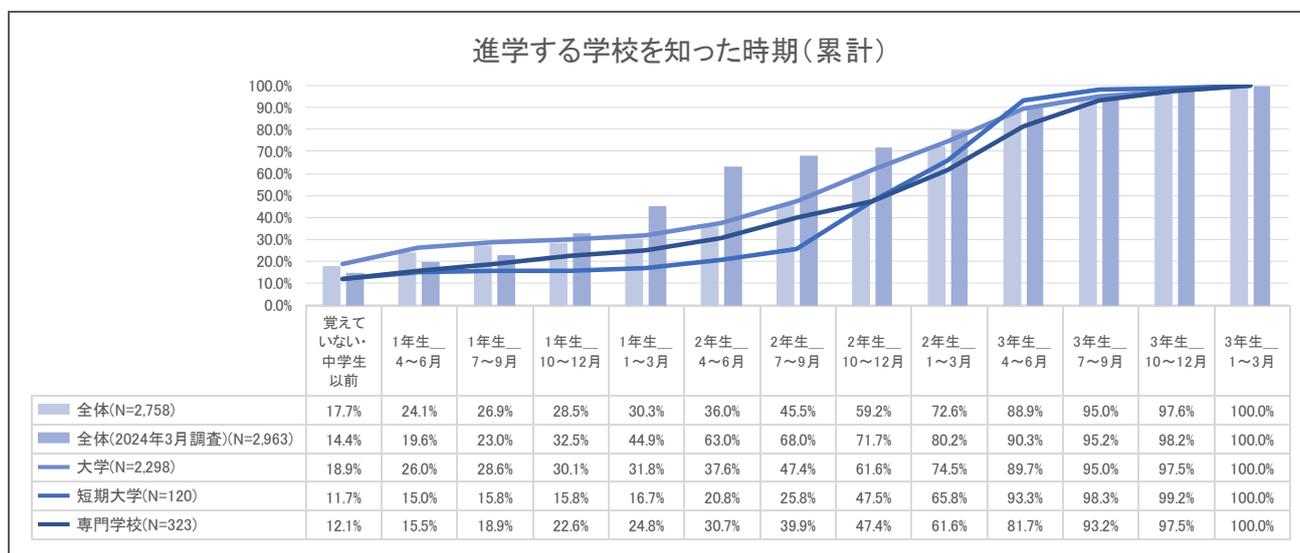
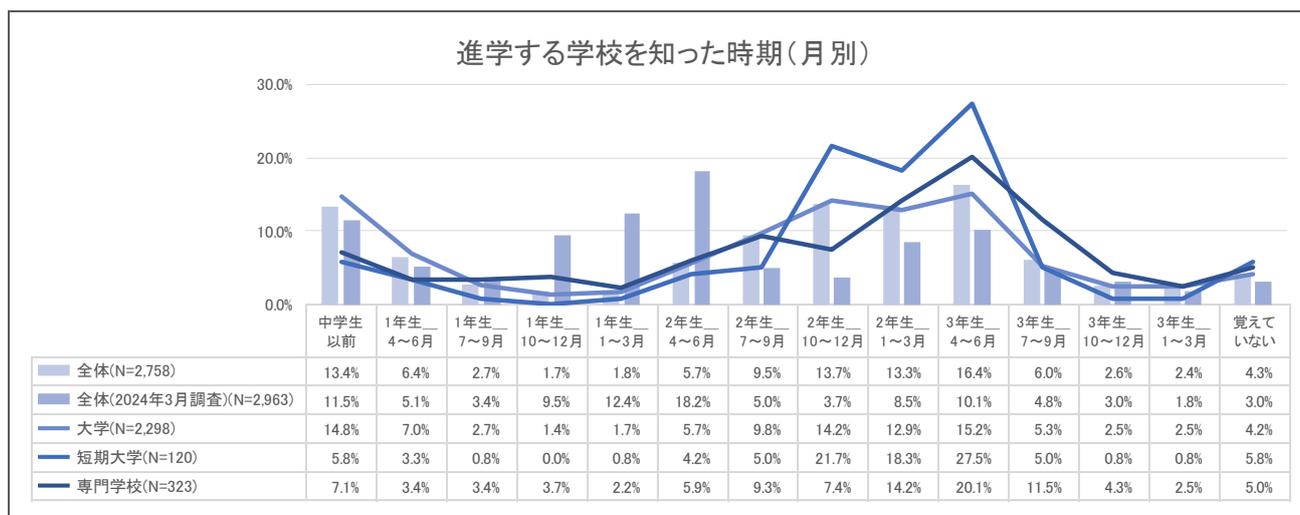


次に、進学先として選んだ学校の認知時期・資料請求時期・オープンキャンパス等のイベントへの参加時期・出願時期を調査した。

進学する学校を知った時期については、「3年生 4～6月」(大学 15.2%、短期大学 27.5%、専門学校 20.1%)が最も多かった。

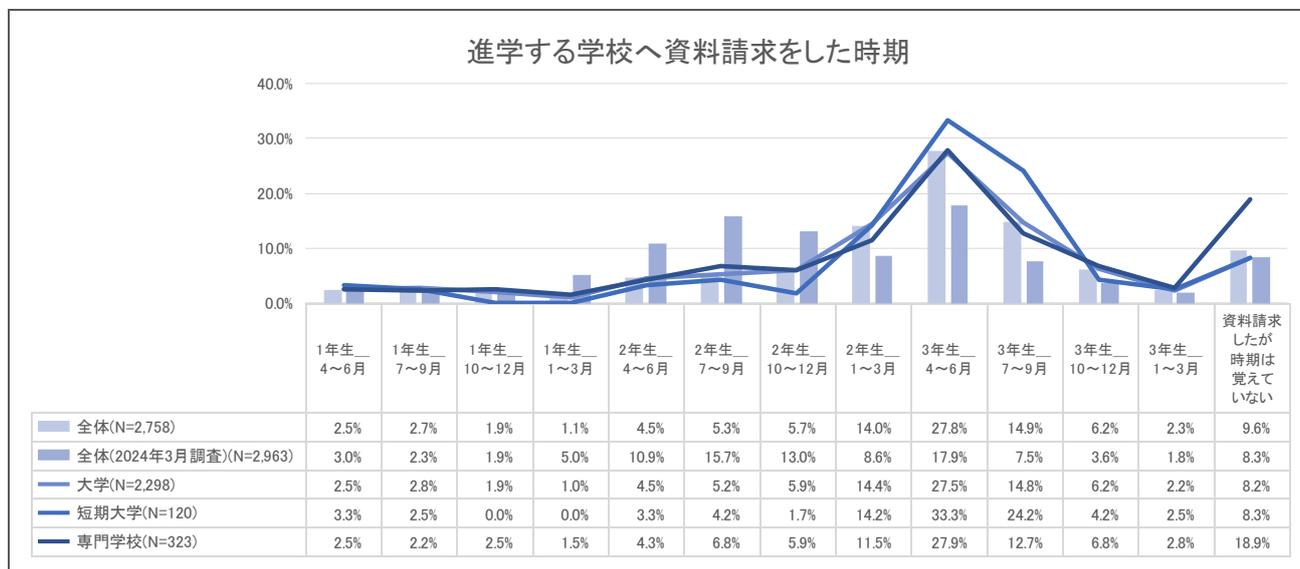
月別に見ると、前年よりも「1年生 10月～2年生 6月」の割合が下がり、その後の「2年生 7月～3年生 6月」の割合が上がっている。

累計値では、1年生 9月までは今年の方が早く積みあがるが、その後は前年の方が上回り、「3年生 4～6月」で約9割のほぼ同レベルの認知に至っている。



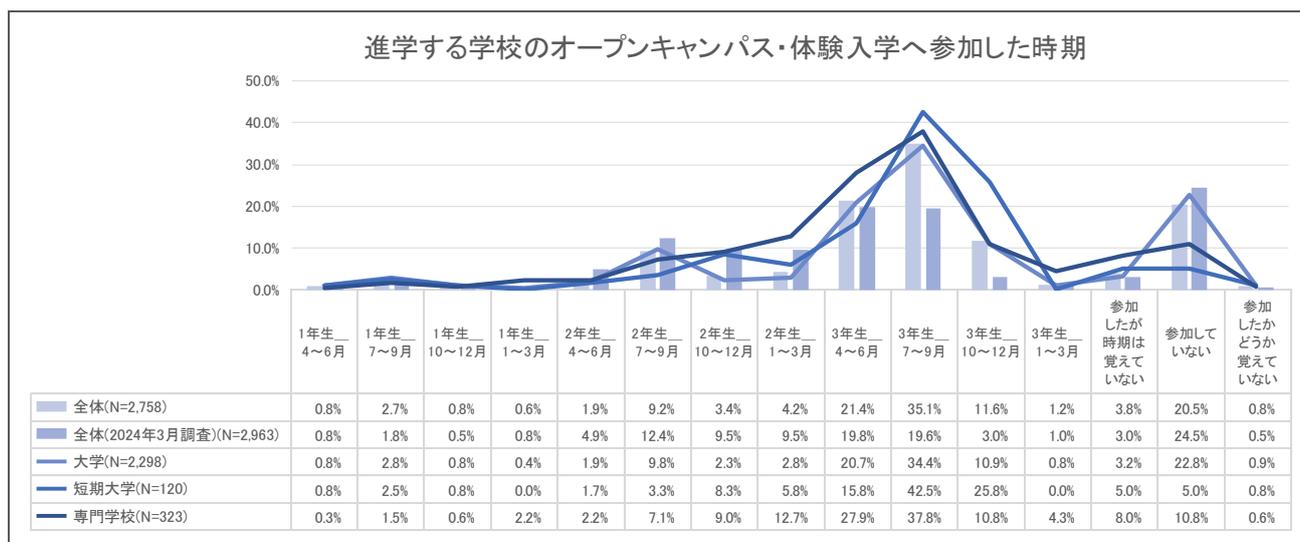
進学する学校へ資料請求をした時期についても、知った時期と同様に「3年生 4～6月」(大学 27.5%、短期大学 33.3%、専門学校 27.9%)が最も多かった。

月別に見ると、前年よりも「1年生 1月～2年生 12月」の割合が下がり、その後の「2年生 1月～3年生 9月」の割合が上がっている。



オープンキャンパス・体験入学へ参加した時期については、「3年生 7～9月」(大学 34.4%、短期大学 42.5%、専門学校 37.8%)が最も多く、また前年に比べて割合が増加している。

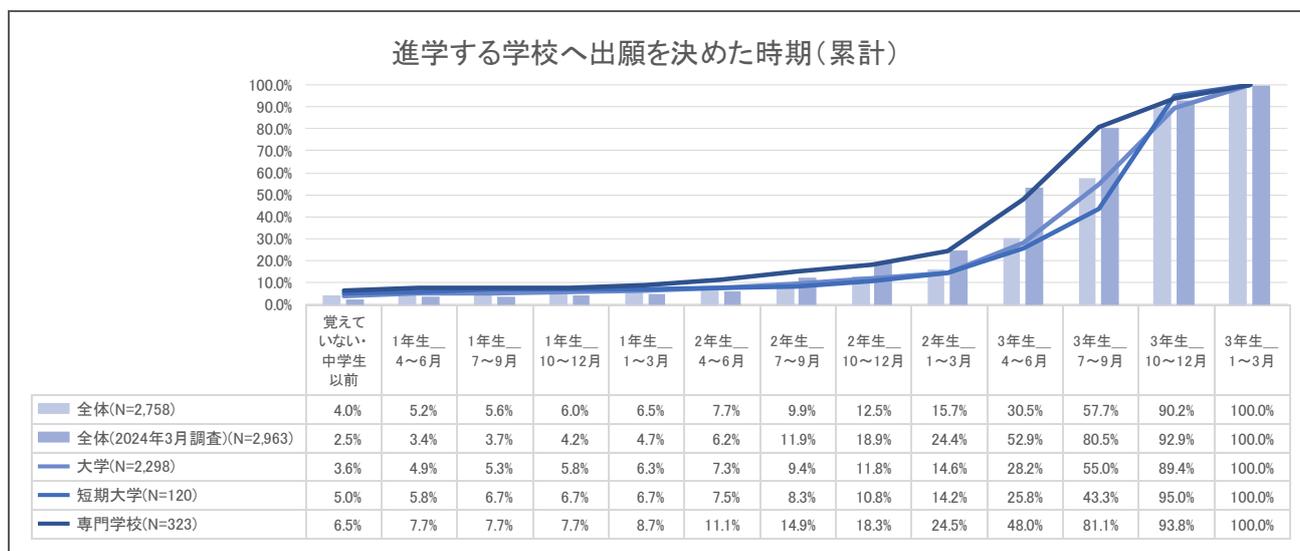
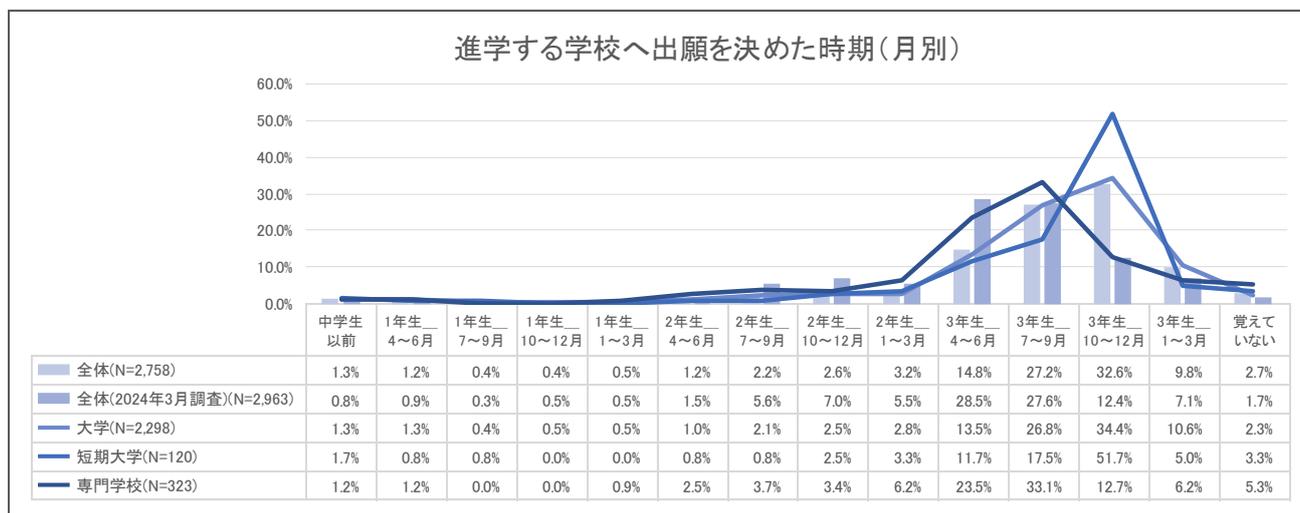
「参加していない」割合は前年の 24.5%に対し、今年は 20.5%と減少しており、感染症対策緩和以降の参加割合は引き続き上昇傾向にある。



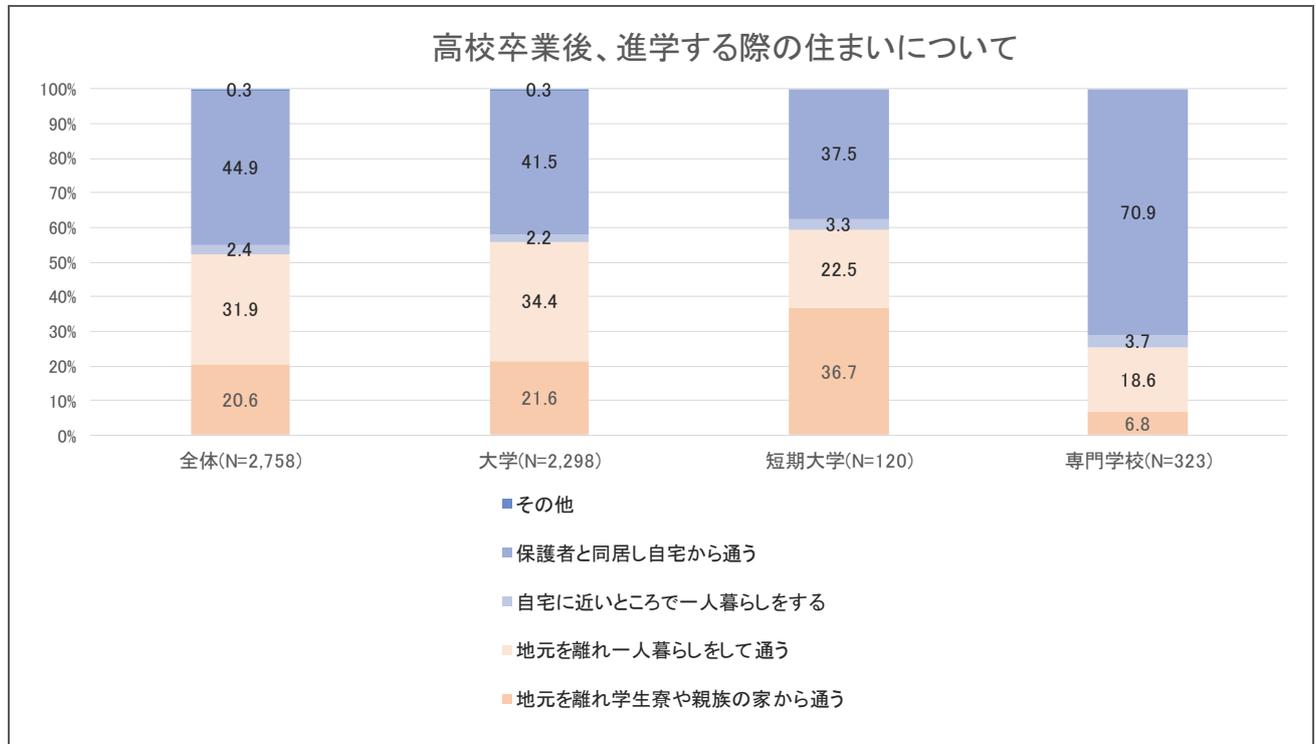
進学する学校へ出願を決めた時期については、大学・短期大学では「3年生 10～12月」(大学 34.4%、短期大学 51.7%)、専門学校では「3年生 7～9月」(33.1%)が最も多い。

月別に見ると、前年よりも「3年生 4～6月」の割合が下がり、「3年生 10～12月」の割合が上がっている。

累計値では、「3年生 7～9月」で専門学校 81.1%、大学 55.0%、短期大学 43.3%の順で、この順番に出願校決定が早い傾向にあることがわかる（前年は短期大学、大学、専門学校の順）。



高校卒業後の住まいについては、「保護者と同じし自宅から通う」(大学 41.5%、短期大学 37.5%、専門学校 70.9%)が最も多かった。短期大学・専門学校は前年と1位は変わらず、大学は前年1位の「地元を離れ学生寮や親族の家から通う」は3位に。



### 3 進学先以外の進学候補学校について

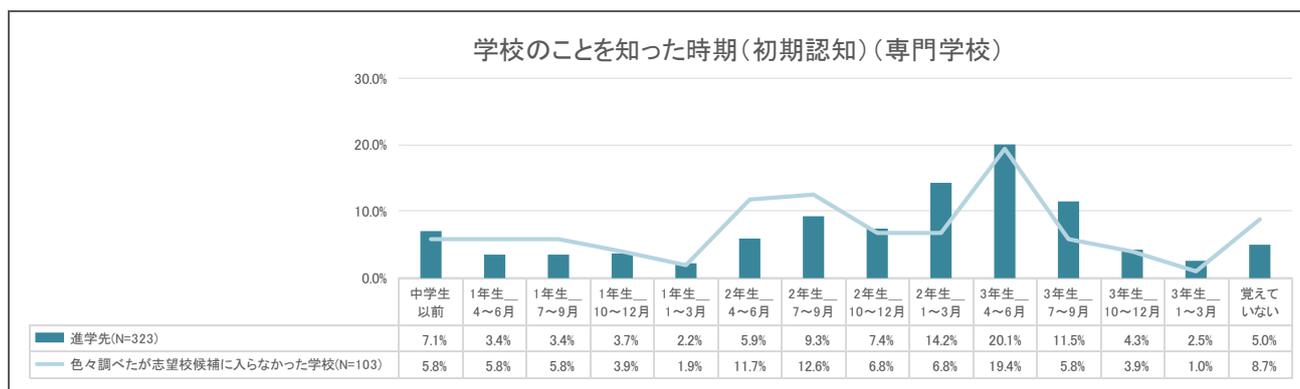
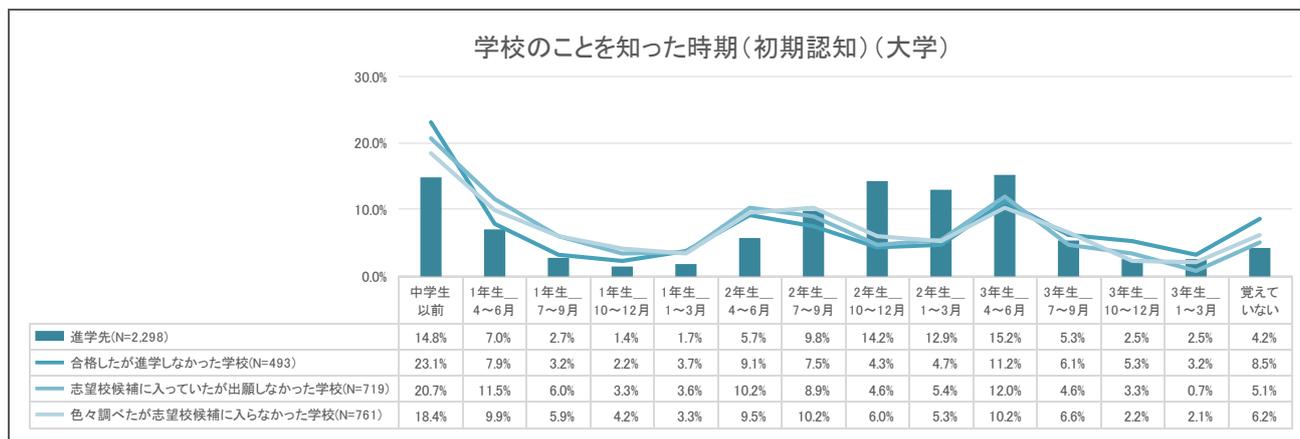
進学先以外の候補学校についても、認知時期・資料請求時期・オープンキャンパス等のイベントへの参加時期・出願時期を調査した。

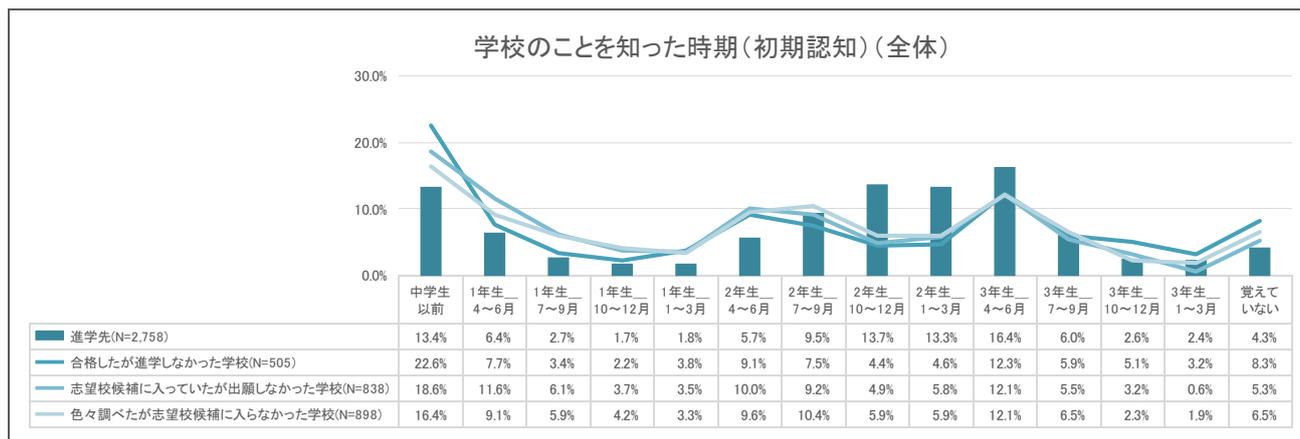
※「進学先」に加えて、「合格したが進学しなかった学校」、「志望校候補に入っていたが出願しなかった学校」、「色々調べたが志望校候補に入らなかった学校」について聴取。

※短期大学など、N数が少ない分類はグラフ作成を割愛。

認知については、大学では、進学先はそれ以外の候補学校に比べて、「中学生以前」は低く「2年生 10月～3年生 6月」が高い。進学先の認知時期は、必ずしも早いわけではないことがわかる。

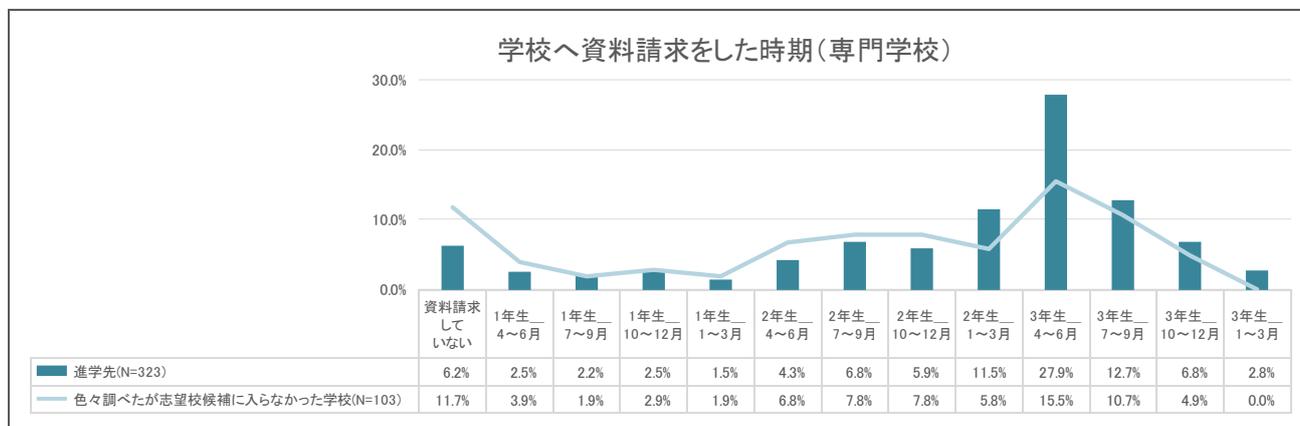
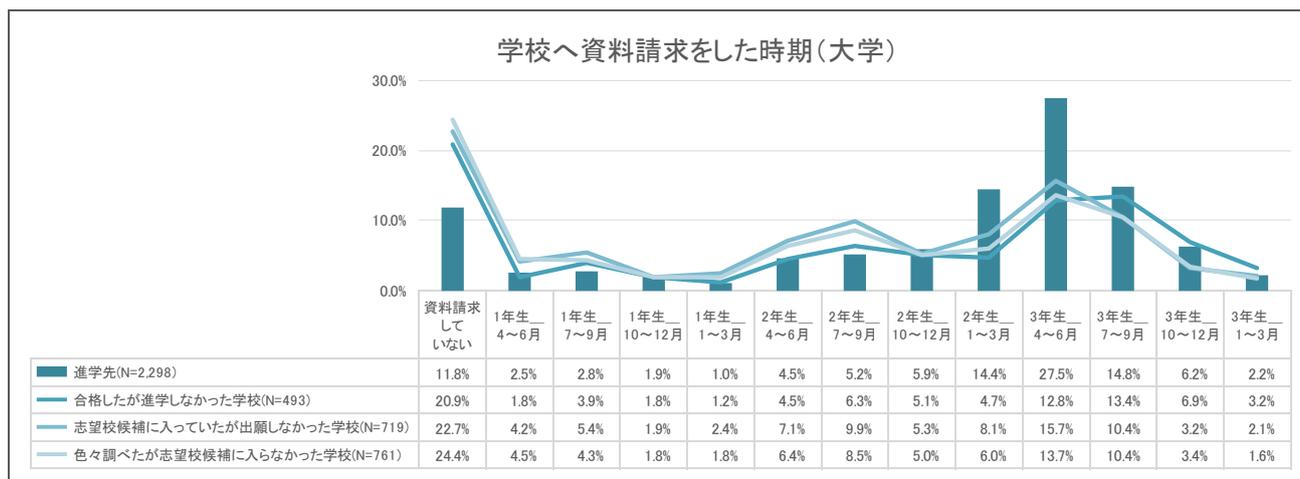
#### ▼学校のことを知った時期（初期認知）

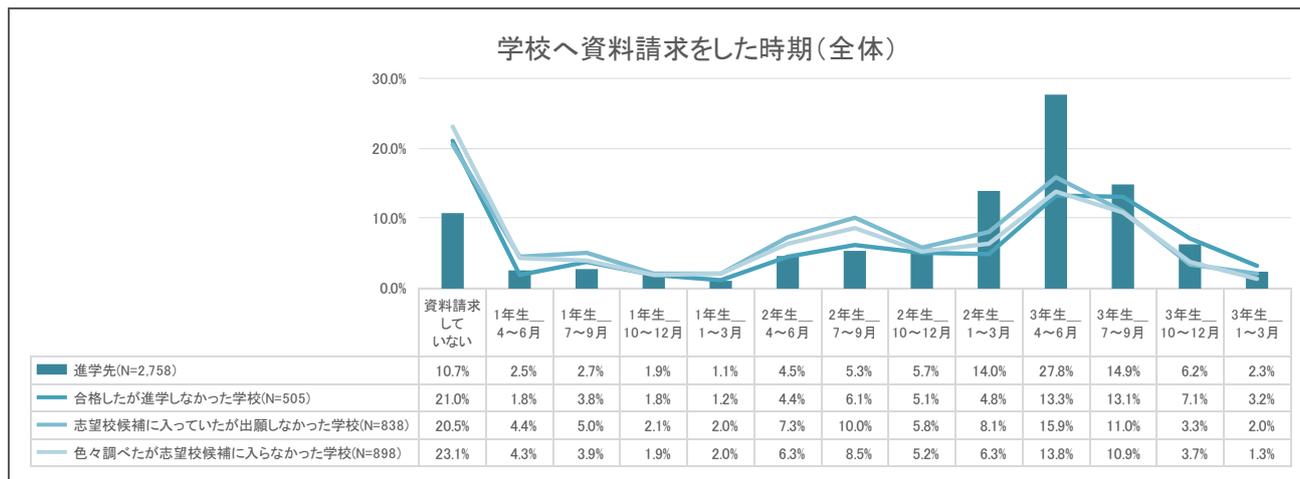




資料請求については、大学・専門学校ともに、進学先はそれ以外の候補学校に比べて「2年生1月～3年生6月」が高く、進学先の資料請求時期は認知時期と同様に、必ずしも早いわけではない。

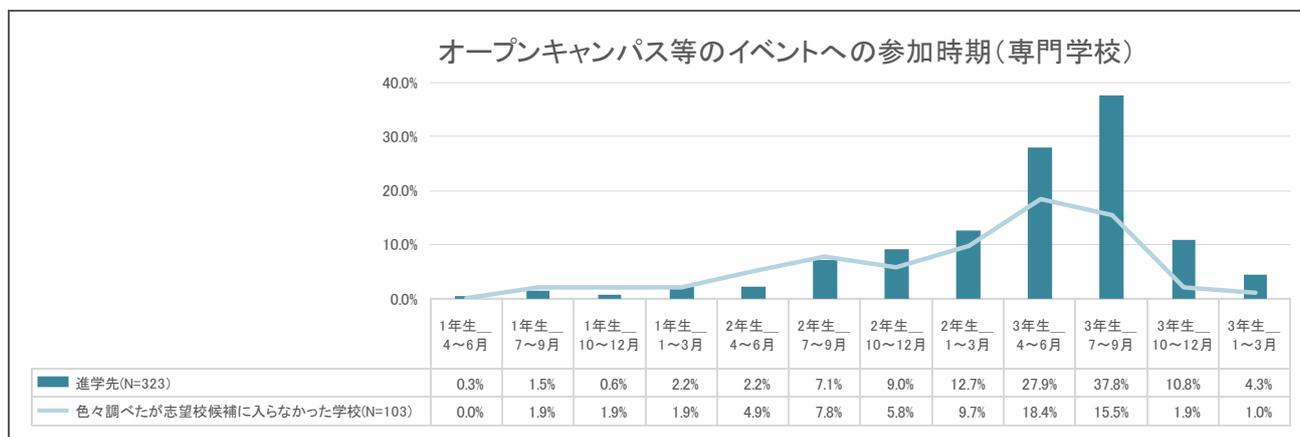
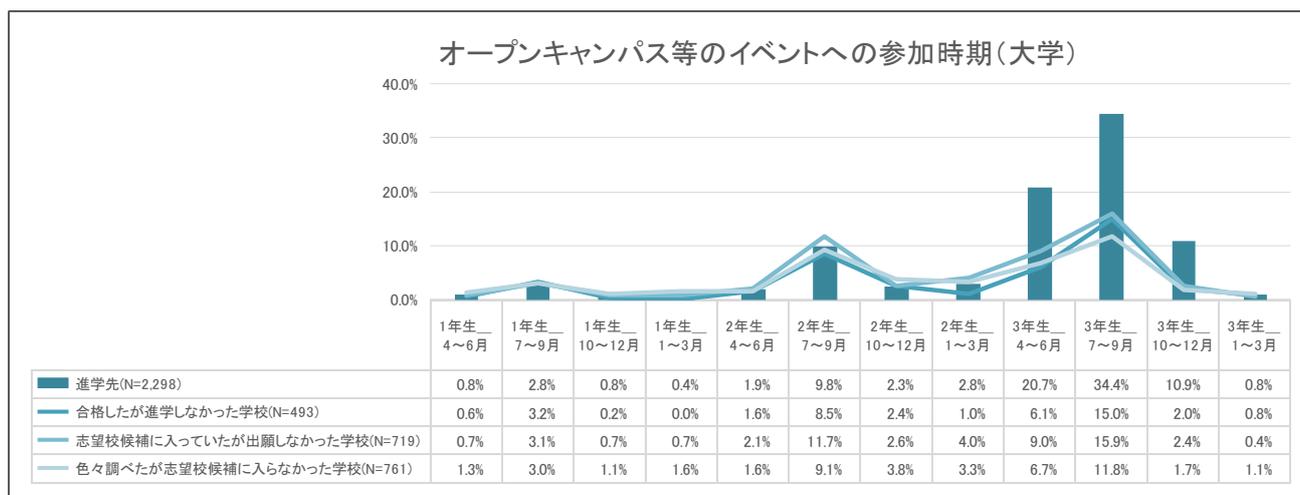
#### ▼学校へ資料請求をした時期

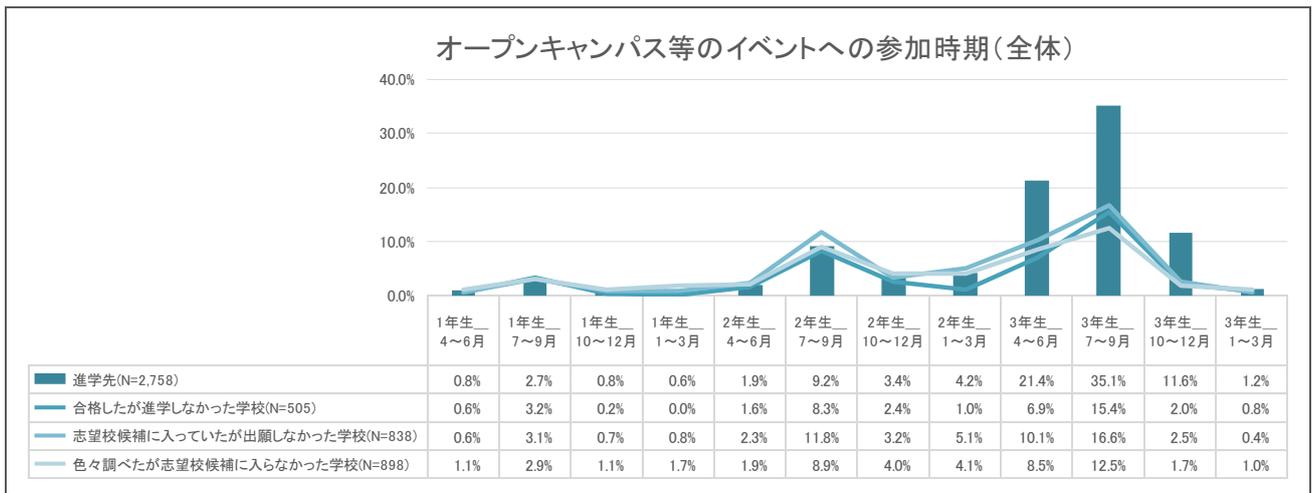




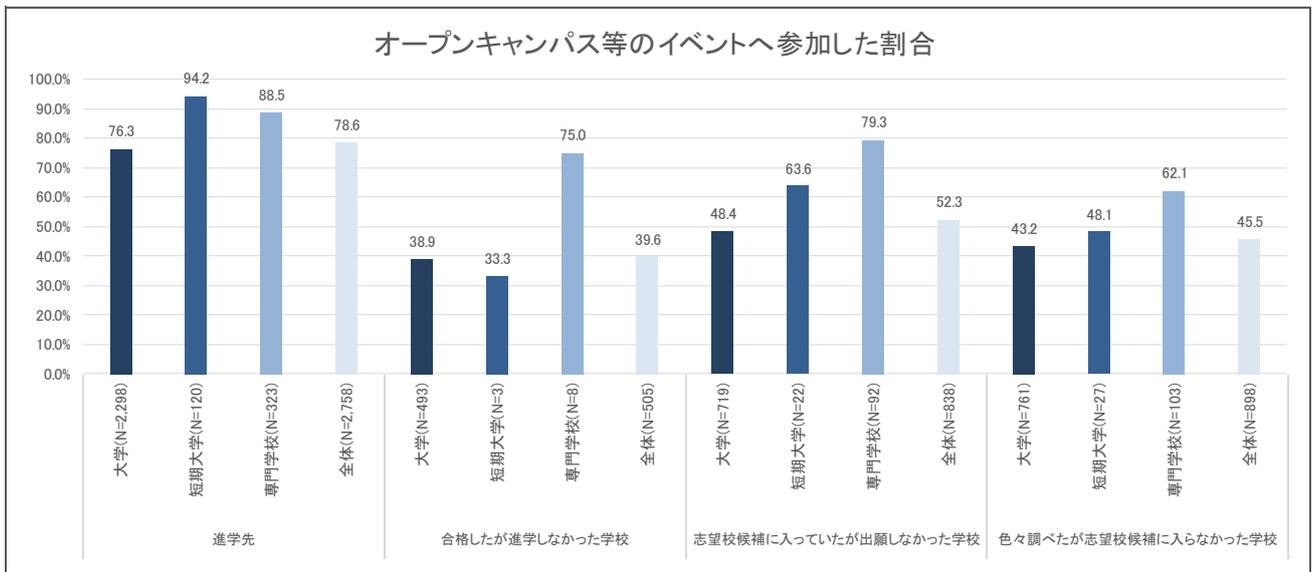
オープンキャンパス等のイベントへの参加時期は、大学・専門学校ともに、進学先はそれ以外の候補学校に比べて「3年生 4~9月」が高く、この時期に割合が集中している。

#### ▼オープンキャンパス等のイベントへの参加時期



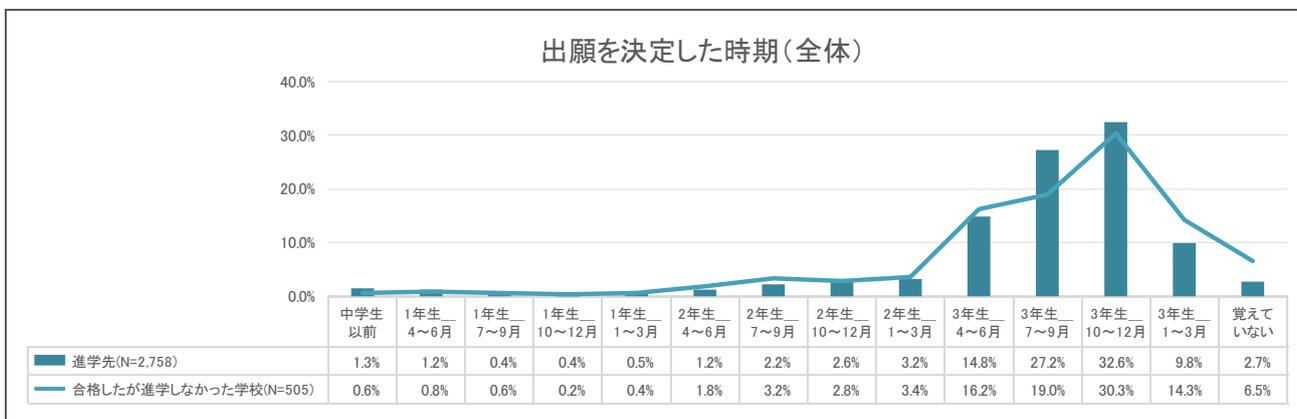
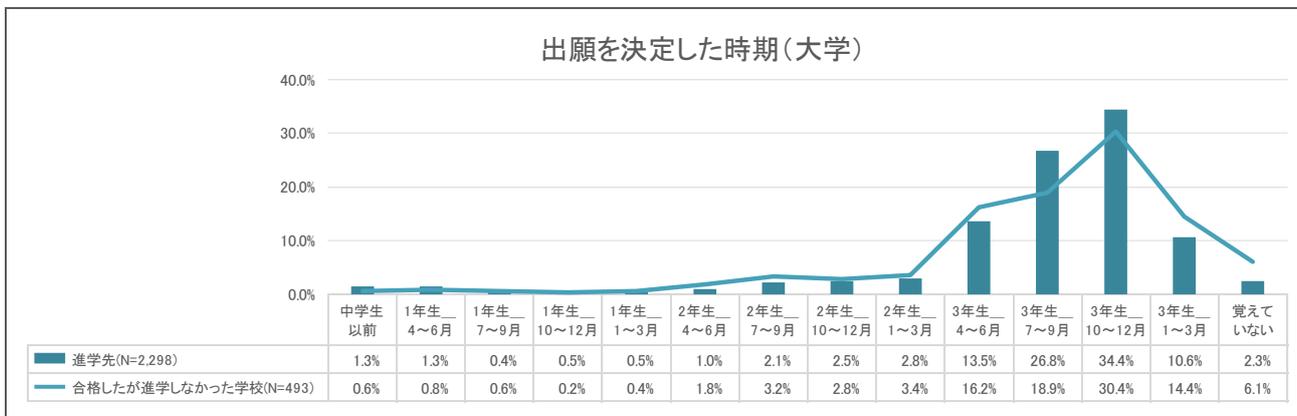


### ▼オープンキャンパス等のイベントへ参加した割合



出願を決めた時期は、大学では、進学先は「合格したが進学しなかった学校」に比べて「3年生 7～12月」が高い。

▼出願を決定した時期

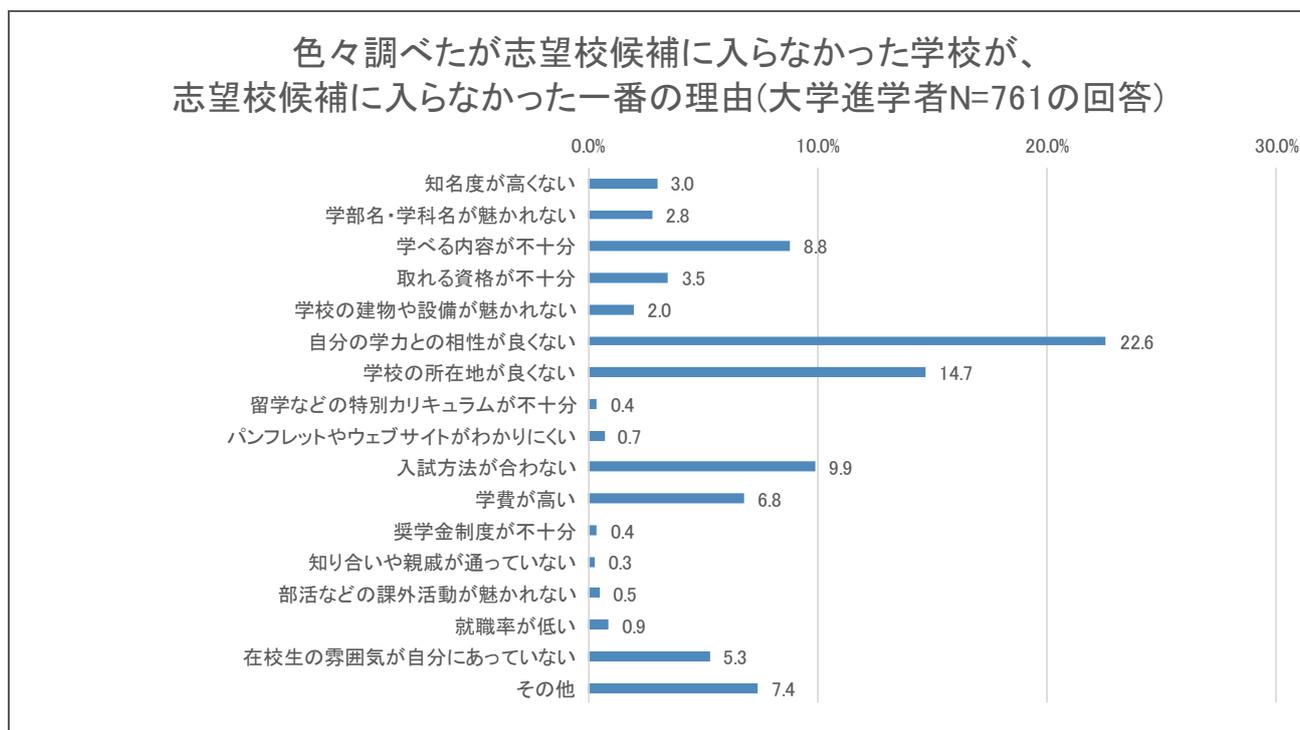


進学先以外の「色々調べたが志望校候補に入らなかった学校」、「志望校候補に入っていたが出願しなかった学校」、「合格したが進学しなかった学校」について、それぞれ志望校候補に入らなかった・出願進学しなかった一番の理由を聴取した。

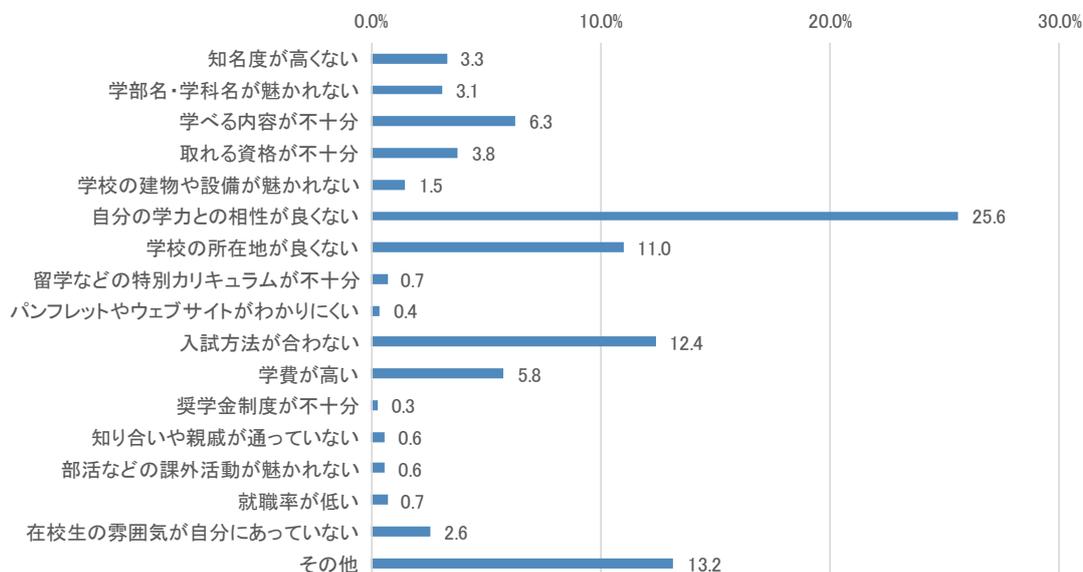
※大学進学者のみ抜粋

志望校候補に入らなかった、志望校候補に入っていたが出願しなかった理由は、いずれも「自分の学力との相性が良くない」が2割台で最も多かった。

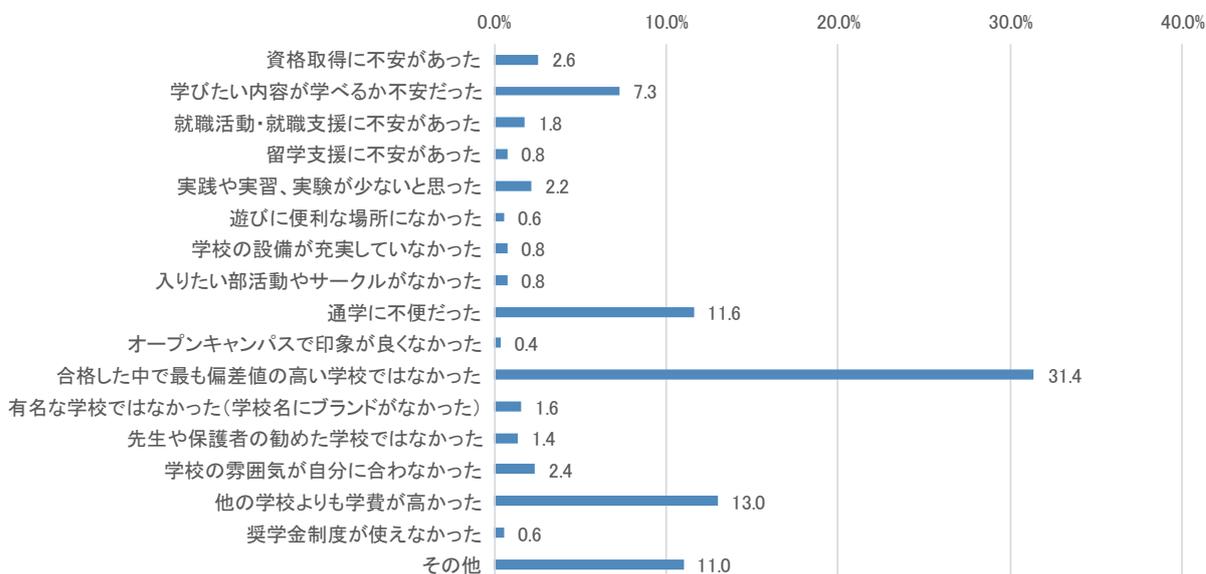
合格したが進学しなかった理由では、「合格した中で最も偏差値の高い学校ではなかった」(31.4%)が突出して高かった。



### 志望校候補に入っていたが出願しなかった学校を、 出願しなかった一番の理由(大学進学者N=719の回答)

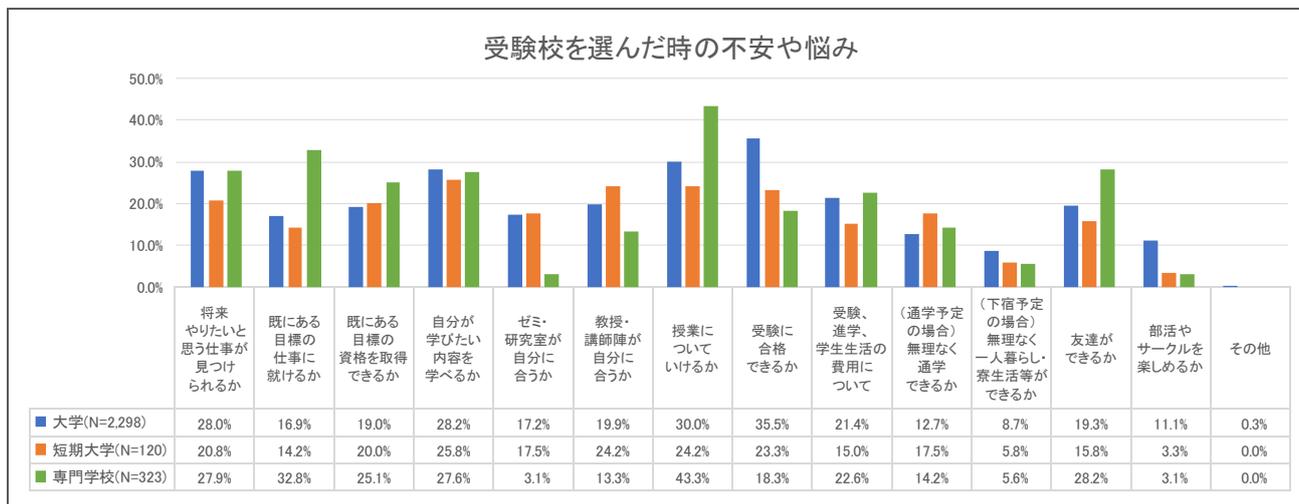


### 合格したが進学しなかった学校を、 進学先として選ばなかった一番の理由(大学進学者N=493の回答)

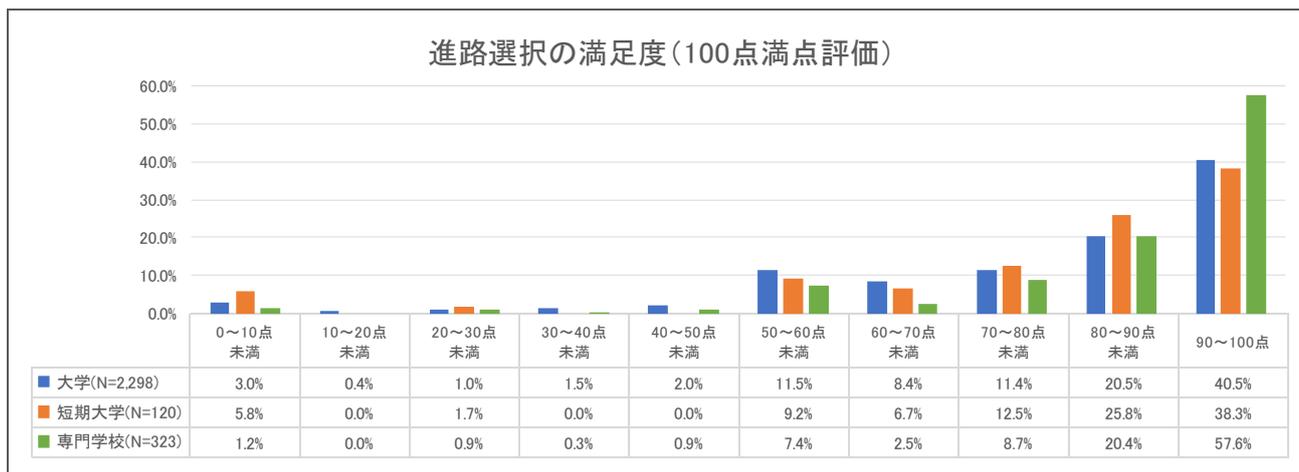


### 4 進路選択・進学後の学校生活について

受験校を選んだ時の不安や悩みについて聞くと、大学では「受験に合格できるか」(35.5%)が、短期大学では「自分が学びたい内容を学べるか」(25.8%)が、専門学校では「授業についていけるか」(43.3%)がトップとなった。



進路選択の満足度（100点満点評価）を聞くと、「90～100点」の割合が最も多く、「90～100点」は専門学校 57.6%、大学 40.5%、短期大学 38.3%の順に高い。80点以上の割合は、いずれの進学先も6割を超えている。



本資料に掲載のデータ、図版等の無断転載を禁じます。資料のご利用やご質問等に関しては下記までご連絡ください。

株式会社マイナビ 未来応援事業本部 マイナビ進学総合研究所

E-mail : ms-souken@mynavi.jp

URL: <https://souken.shingaku.mynavi.jp>